【第160号　二〇一八年 四月 五日発行】

福音の園（その）だより

平成18年度「高年齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着の為の優れた取組」表彰

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
３５０－００１６ 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉　事務局**
☎０４９－２３０－１１１１(FAX２３０－１１１２)

新年度を迎えて――理念・方針説明

「あなたの声をお聞かせて下さい！」

―「傾聴」に徹するために

グループホーム **福音の園・川越** ホーム長　杉澤 卓巳

故永 六輔さんがエッセイにお孫さんを連れ、近所の郵便局へ出掛けたエピソードを紹介している。窓口で手続きしていると、待たせたお孫さんがロビーに置かれた小箱に向かって何やら大きな声を発している。用事を済ませて訊ねると**『あなたの声をお聞かせ下さい』**と「投書箱」に貼り紙されていた。「この箱にボクの声を聞かせていた！」と応えた。

いじめに耐えられず自死された小中高生の「いじめ報道」に心を痛める。いじめられる辛い気持ちを、身近な誰かに向かって叫び、心の声を発することは出来なかったのか？　一緒に暮らす父母が「何故、声を発してくれなかったのか」と無念を遺影に嘆き掛けておられると思うと胸が痛む。

※　※　※　※　※　※

「話し合い」でなく「聴き合い」が大事

『聴くという行為は技術ではなく、聴こうとする「耳」と「心」があれば、誰もが「聴く力」を持つことができます。そして、そこに聴く人だけが得ることのできる喜びがあります。「聴く力とは何か？」と問われたら、「こころの声」を聴く力だと言えます。』

（元ＮＨＫアナウサー室長・山根基世さん対談より引用）

ＮＨＫを定年退職したあと、同年代のアナウサーたちと「ことばの杜（もり）」というグループを作って、子どもの話し言葉を育てる活動を続けておられる山根基世さん。各地の言葉教育の現場を見て回って気付いたのは「地域社会の崩壊」。今の子どもに必要なのはパブリック・スピーキングよりも日常の暮らしの言葉。「隣の人と心を通わせるための言葉づかいを身につける場がない」と指摘。**もはや学校と家庭だけで子どもを育てられる時代ではない**として「閉鎖的で煩わしい関係性」ではなく新しい居心地の良い『地域』が必要。幼い子どもからお年寄りまでが一堂に会し、一緒に何かをする場を作れば、子どもたちは**異年齢の人たちの多様な言葉を聴く**ことができるし、人生を切り拓く人間力も身につくと思う。そのような場を作り、広げていくことが私の夢です、と２０１３年から**地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動**をしておられる。

「症状でなく人を見て欲しい！」

認知症対応型ホームにあって、お世話させていただく入居者の皆さんは、「認知症状を有する故」にコミュニケーションが「苦手なお一人ひとり」。

コミュニケーションには、言語によるものと、言語以外（目、表情、手振り、動き、様子、声の調子、顔色等）の非言語によるものとがある。じっと黙っている表情から、辛いのか、痛いのか、悲しいのか、伝わる思いを汲み取ることが求められている。

ご入居者は、内面にある思いを言語化することが困難なお一人ひとり。その為、いつもと違う体調の変化や日常のちょっとした変化（表情、目の動き、排泄の量、声の調子、食事の量等）に気付いたり、心の奥にある声を理解しながら傍らに寄り添う介護スタッフに、**「解語者」**としての感性が求められている。

介護の実質は、「解語者の語彙の豊かさ」に比例するように思えてならない。思いを汲み取り、「…かもしれない？」と推測する「引き出し」が必須。「意味」は解語者との出会いによって生じてくる。「意味を発見する力」が介護者に求められる「仕事の力」。

新年度を迎えて、「解語」に必須な語彙（引き出しの数）を一つでも多く身に着けることを目標にして「**一緒 懸命**」に「**聴く力**」を向上させたい。

福音の園・川越　スタッフ一覧

（４／５現在）

①早出　②普通　③準遅　④遅出　⑤夜勤 の５交替制でお世話させていただくスタッフ（２６名）です。

一階ユニット・計画作成担当・鈴木 昌子（ケアマネジャー）
介護職・松田 亘司、新井登喜子、羽田野ちづ子、長澤きつ子、小野 登代、野村 智子、山口 静江、永井 暁子、池田 直美。
二階ユニット・計画作成担当・杉澤 玉美（主任ケアマネジャー）
介護職・杉山 直美、小島 悦子、石井ひとみ、弓田テツ子、新井千恵子、南里紀代子、和田 和子、益子 千江、石原 稔、杉山 和子、阿部 歩、山田 敦子。
看護職・川田 圭子。**事務職**・長谷川 真奈。
管理者・杉澤 卓巳（労務管理士・リスクマネジャー）

☞ 在職者の**平均勤続年数　６年６ヶ月**（４／５現在）

☞ **「１０年永年勤続・表彰者」１４名**（４／５現在）

スタッフ主要資格一覧

ホームヘルパー２級 ７名、介護職員基礎研修修了 ０名、介護福祉士 １２名、特定行為業務従事者（たん吸引・胃ろう経管栄養） １名、認知症ケア専門士２名、介護支援専門員４名、正看護師１名。